



# WebFOCUS インストール時の追加手順 for Linux Version 9.0.0 Kernel 4.18

---

Linux (Kernel4.18) に WebFOCUS Linux Version 9.0.0 Kernel4.18 用の WebFOCUS Reporting Server モジュール (TIB\_wf-rs\_9.0.0\_linux418\_x86\_64.run) を使用してインストールした場合、WFTEST-4983、4982 の問題が確認されています (Linux (Kernel4.18) のみで発生する問題です)。

## WFTEST-4983 :

Linux 版 (カーネル 4.18) で V9.0.0 の Reporting Server インストールすると、Hyperstage の構成に失敗します  
(インストールでエラーが検出されます)

## WFTEST-4982 :

Linux 版 (カーネル 4.18) の V9.0.0 の Web コンソールで、ワークスペースの LOCALE 設定の画面が文字化けします

これらの問題に対応するため、WebFOCUS for Linux version 9.0.0 を Linux (Kernel4.18) にインストールする場合には、以下の手順を実施してください。

### ■ WFTEST-4983 の対応手順

### ■ WFTEST-4982 の対応手順

---

## WFTEST-4983 の対応手順

1. WebFOCUS Reporting Server を停止します。 ※<directory>は実際の環境に合わせて指定ください。

例 : `$ /<directory>/ibi/srv90/wfs/bin/edastart -clear`

2. WebFOCUS Reporting Server の起動状況が「NotRunning」であることを確認します。

例 : `$ /<directory>/ibi/srv90/wfs/bin/edastart -status`

3. 以下のファイルをエディタで開きます（編集前にバックアップの取得をお勧めします）。

`/<directory>/ibi/srv90/wfs/etc/odin.cfg`

4. 以下の HyperStage Database Server の指定をコメントアウトします。

指定例 :

```
;HyperStage Database Server
;NODE = HSSU
;BEGIN
;  PROTOCOL = TCP
;  CLASS = HSSERVER
;END"
```

5. ファイルを保存して閉じます。

6. 以下のファイルをエディタで開きます（編集前にバックアップの取得をお勧めします）。

`/<directory>/ibi/srv90/wfs/bin/edaserve.cfg`

7. 以下の指定をコメントアウトします。

指定例 :

```
[Adapters]
;hypg_data = /opt/webfocus/ibi/HyperstagePG
;hypg_access = y
;hypg_home = /opt/webfocus/ibi/srv90/home/hs
;hypg_tools = /opt/webfocus/ibi/srv90/home/hs/bin;HyperStage Database Server
```

8. ファイルを保存して閉じます。

9. 以下のファイルをエディタで開きます（編集前にバックアップの取得をお勧めします）。

`/<directory>/ibi/srv90/wfs/etc/edasprof.prf`

10. 以下の指定をコメントアウトします。

指定例 :

```
-*ENGINE SQLHYPG SET BULKLOAD ON
```

---

```
-*ENGINE SQLHYPG SET CONNECTION_ATTRIBUTES CON1  
'jdbc:postgresql://localhost:8124/webfocus'/admin,{AES}C4C9965503D50222144F289FF131  
5F2C  
-*ENGINE INT SET ETL-TRG-DBMS SQLHYPG/CON1
```

**11.** ファイルを保存して閉じます。

**12.** WebFOCUS Reporting Server を開始します。

例 : `$ /<directory>/ibi/srv90/wfs/bin/edastart -start`

以上で WFTEST-4983 の対応手順は終了です。

---

## WFTEST-4982 の対応手順

1. WebFOCUS Reporting Server を停止します。 ※<directory>は実際の環境に合わせて指定ください。

例： `$ /<directory>/ibi/srv90/wfs/bin/edastart -stop`

2. 対応に必要な以下のファイルを、WebFOCUS インストールユーザがアクセスできるディレクトリにコピーします。

ファイル： IBI/64bit/Server/Kernel-4.18.0/ntjpn.lng      ※インストールモジュールと同じフォルダに格納

IBI/64bit/Server/Kernel-4.18.0/ntjpn\_utf.lng

ディレクトリ例： /<directory>/tmp/

3. ファイルを置き換えるディレクトリに移動します。

例： `$ cd /<directory>/ibi/srv90/home/nls`

4. カレントディレクトリにある同名のファイルを、2 でコピーしたファイルで上書きコピーします（実行前にバックアップの取得をお勧めします）。

例： `$ cp -f /<directory>/tmp/ntjpn.lng .`

`$ cp -f /<directory>/tmp/ntjpn_utf.lng .`

5. WebFOCUS Reporting Server を開始します。

例： `$ /<directory>/ibi/srv90/wfs/bin/edastart -start`

以上で WFTEST-4982 の対応手順は終了です。